



疫病退散
SHIMODA SPIRIT

市議会だより

■ 8月臨時会 ■ 9月定例会

8月21日

9月9日～29日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉

令和2年度 朝日小学校運動会 10月18日



全力！朝日フラッグ！



誓いの言葉



アトラクション



色別対抗リレー

8月臨時会・9月定例会の主な議題

- ◆ 副市長に元静岡県職員、曾根英明氏が就任
- ◆ 新生児（4月28日以降生まれ）へ下田市出生応援支援金10万円給付
- ◆ 上水道基本料金2か月分免除

8月臨時会総括

下田市議会8月臨時会は令和2年8月21日、一日の会期として開催され、専決処分1件、補正予算2件の審議が行われました。

専決処分は、7月17～19日にかけての大雨に対応する復旧経費を補正したもので歳入歳出それぞれ6784万円が追加され原案のとおり承認されました。

補正予算は、一般会計補正予算及び水道事業会計補正予算が上程されました。

一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ7761万6千円が追加されました。これにより令和2年度一般会計歳入歳出予算総額はそれぞれ158億1731万1千円として原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算では出生応援支援金として特別定額給付金10万円の対象とならなかった新生児に対する支援金721万6千円と医療機関向けの新型コロナウイルス感染症防止対策経営改善事業補助金2450万円、医療機関及び薬局内の感染防止のためのオン

ラインでの受診及び服薬指導の導入に対するオンライン診療等環境整備支援補助金450万円が組み込まれています。また水道事業会計補正予算では、コロナ禍で困窮している中での対応措置として水道基本料金10・11月分が免除され、主に一般家庭で使用されている13ミリ口径では月額1166円が免除されるものです。下水道使用料については、給水区域と比べて区域が限られており、公平性の観点から、上水道基本料金のみの対応となりました。

8月臨時会

総務文教委員会

委員長 滝内久生
副委員長 渡邊照志
委員 鈴木孝 矢田部邦夫
進士濱美 大川敏雄
沢登英信

令和2年度下田市一般会計補正予算

*福祉事務所

■下田市出生応援支援金給付事業 721万6千円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における特別定額給付金(10万円)は令和2年4月27日までに出生したものが対象でした。

今回、新型コロナウイルス感染症の影響により、子供の養育に不安を感じる保護者等への生活支援として、下田市出生応援支援金(10万円)を給付するもので、対象は令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生したものとなっています。

尚、申請期限は令和3年4月14日までとなっています。

産業厚生委員会

委員長 進士為雄
副委員長 江田邦明
委員 中村敦 佐々木清和
小泉孝敬 橋本智洋

令和2年度下田市一般会計補正予算

*市民保健課

■感染病予防事業

2900万円

この事業の主なもの、感染防止対策及び経営改善を支援するための医療機関向けの

補助金を創設するもので、病院に対しては補助率2分の1で1事業者あたり上限100万円を、診療所・歯科診療所には上限75万円を補助するものです。

またオンライン診療等環境整備支援補助金は、自宅にいなながら薬剤の受け取りまでできるオンライン診療及びオンライン服薬指導ができる機器の導入に係る経費を助成するもので、1施設当たり30万円を上限として補助するものです。

■母子保健相談指導事業

140万円

この事業は、3歳児視覚検査スクリーニング機器を購入するもので、3歳児健康診査における眼科検査に当たり、現在は、一人当たり5～10分程度の検査時間を要するところ、この機器を購入することにより、時間短縮することができ、蜜を避け、感染予防に努めることができるようになるものです。

*環境対策課

■水道事業会計繰出金

4000万円

新型コロナウイルス感染症

の影響を鑑み、市民生活及び経済活動を支援するため、水道料金のうち基本料金(個人、法人)2か月分を免除するもので、免除分3900万円とシステム改修分100万円を水道事業会計に繰り出すものです。この財源としては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当するものです。

令和2年度下田市水道事業会計補正予算

*上下水道課

■収益的収入 △290万円

水道料金の基本料金2か月分の免除分として給水収益を4290万円減額し、営業外収益として一般会計からの繰入金4000万円を受け入れるものです。

■収益的支出

△299万1千円

営業費用として基本料金免除に伴うシステム改修費用100万円と営業外費用として基本料金の減額に伴う消費税及び地方消費税399万1千円の減です。

9月定例会総括

下田市議会9月定例会は9月9日から9月29日までの21日間を会期として開催されました。一般質問は8人の議員が質問しました。

決算認定10議案については決算審査特別委員会で審査が行われ、賛成多数で認定されました。報告議案3件、人事議案4件、契約議案1件、補正予算9件、合わせて27件の提出議案の審議が行われました。補正予算は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連予算が主なもので、契約議案では、教育用タブレット端末976台の契約の締結が追加議案にて上程されました。

副市長の選任については9月定例会最終日に提案され元静岡県経営管理部総務課企画経理班長の曾根英明氏を全会一致で同意しました。

令和2年度下田市一般会計補正予算

*総務課

■財産管理事務

110万8千円

旧稲梓診療所跡地は売却を予定しており、調査の結果敷地の中心部に所有者不明の土地が所在することが判明しました。売却を容易にするには一つの土地とすることが必要であり、今回土地購入費や手続き関連経費を追加するものです。

■財政調整基金

4億500万円

地方財政法に基づく令和元年度決算剰余金の2分の1以上の3億1000万円と予算調整等により捻出した9500万円を積み立てるもので、令和2年度末残高は7億4741万7千円となるものです。

■減債基金

7362万円

起債償還の財源として、基金に積み立てるものです。

*防災安全課

■下田地区消防組合負担事務

794万9千円

下田地区消防組合の負担金で、通常分の負担金精算として251万2千円を減額し、下田地区消防組合施設整備基金積み立て計画により、基金積立分を負担金として1046万1千円支出するものです。

■消防団活動推進事業

291万4千円

主なものは、耐切創手袋230個の購入、各分団長・副分団長用のIP無線機14台の購入、消防団ヘルメット500個及び可搬ポンプ7台の廃棄物処理の委託料です。

■消防施設等整備事業

206万円

白浜貯水槽防護柵、マイマイ通り新田公会堂前防火水槽蓋等の修繕費です。

*福祉事務所

■総合福祉会館管理運営事業

930万円

新型コロナウイルス感染症対策として、総合福祉会館内のトイレ改修工事に係る設計委託料、工事請負費と施設管理備品として、殺菌灯付スリッパロッカー2台の購入費を増額するものです。

トイレ改修工事の内容は洋

式化、既存洋式便器及び洗面台の自動水栓化です。

■災害救助総務事務

395万9千円

災害時の被災者生活再建支援システムの導入費で、システム導入により現地での被災状況の入力が可能となり、迅速に被災者台帳の構築や罹災証明の発行が出来るものです。また、賀茂地区の自治体でも同システムが導入される予定で、大規模災害時の広域支援活動が期待されます。

*学校教育課

■放課後児童対策事業

671万円

来年度から開設を予定している稲梓小学校放課後児童クラブの開設経費で、玩具、絵本等の消耗品費とテレビ、冷蔵庫等の備品購入費、また使用予定教室の床等の修繕費、入口階段や空調設備の工事費等を増額するものです。

■学校情報通信環境整備事業

2082万2千円

主なものは、GIGAスクール構想実現に向け、備品購入等通信環境の整備を進めており、その一環としてタブレ

ット端末整備に必要なタッチペン1046本と教職員用の端末70台の購入や授業での活用に向けた支援業務等の研修に係る費用です。

■小学校管理事業

1655万9千円

主なものは、各小学校の遊具、放送設備の修繕費と避難所として活用される学校施設の感染症予防対策として下田小学校屋内運動場トイレ2か所、稲梓小学校屋外トイレ2か所、大賀茂小学校屋外トイレ1か所の洋式化に係る工事費です。

■中学校再編整備事業

2161万2千円

主なものは、中学校再編に係るネットワーク機器等の移設費用と新視聴覚室、新図書室、職員室、事務室の机、椅子、棚等の購入費です。

*生涯学習課

■下田市民スポーツセンター管理運営事業

250万円

新型コロナウイルス感染症対策として、トイレを改修するもので、男性用1か所、女性用2か所を洋式化するものです。

総務文教委員会

9月定例会

■下田市民文化会館管理運営事業 250万円

新型コロナウイルス感染症対策として、2階トイレを改修するもので、男性用1か所、女性用1か所を洋式化するものです。併せて、自動洗浄化も予定されています。



市民文化会館2階男子トイレ

産業厚生委員会

令和2年度下田市一般会計補正予算

*市民保健課

■予防接種事業

834万6千円

この事業の主なもの、定期予防接種（B類疾病）業務委託826万9千円で、本年度のインフルエンザ予防接種

に限り、65歳以上の高齢者の自己負担金を3千円から2千円に引き下げるもので、接種率を向上させ、重篤とならないようにするものです。

*環境対策課

■焼却場管理事務

7260万3千円

この事業の主なものは、修繕料7267万1千円でごみクレーン及びコンプレッサ等点検整備修繕ほか7件を修繕するものです。

■環境衛生事業 131万円

この事業の主なものは、環境対策課所管の柿崎及び二丁目の公衆トイレを感染症対策として120万円で洋式化するものです。

*産業振興課

■移住・交流居住推進事業

200万円

新型コロナウイルス感染症の影響により増加が予想される移住・交流相談に対応するために、休日相談・体験ツアー実施業務委託72万円、PR用動画作成業務委託50万円、庁用備品の備品購入費40万円を増額するものです。

■農用施設維持管理事業 499万円

この事業は、横川地区湯ヶ野田用水路ほか3件の修繕料450万円と椎原用水路ほか2件の原材料費49万円です

■林道維持管理事業 410万円

この事業は、林道須郷線ほか3件の地区要望を実施するための修繕料です。

■市営治山事業 180万円

この事業は、治山施設である天神社上の法枠及び落石防護柵を180万円で修繕するものです。

■商工振興事業 400万1千円

この事業の主なものは、空き店舗等有効活用推進業務委託200万円で、空き店舗の活用の先進事例を学び、空き店舗の利活用に向けた機運を高めるため、研究会の開催、活用ハンドブックを作成するものです。

■企業誘致推進事業 1億2190万円

この事業の主なものは、旧樋村医院耐震改修工事1億620万円及び旧樋村医院耐震改修工事監理業務300万円、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワーク・ワーケーションの需要が高まる中、事業の一層の推進を図り実施体制・PR強化ため、ワーケーションポータルサイト構築業務委託300万円、パンフレット制作業務委託200万円を実施するものです。

また、宿泊施設ワーケーション普及促進業務委託400万円は、下田の宿泊施設を活用したワーケーション利用者の受け入れを促進するため、市内宿泊施設と旅行エージェントの連携によるワーケーション商品の作成・販売をするものです。

*観光交流課

■観光まちづくり推進事業 1421万円

この事業の主なものは、下田市観光協会への補助で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け停滞している観光事

業者や商品の活性化を促すため、イベント開催等を交通業者と連携する事業に600万円、誘客の増加を図るため、各種媒介を通じ下田市の魅力を発信するための事業に821万円を補助するものです。

■観光施設管理総務事務 901万1千円

この事業の主なものは、市内に点在している観光施設トイレ11施設を洋式化するため、工事費900万円です。

■伊豆半島ジオパーク推進整備事業 1202万6千円

この事業は、ジオパークへの観光客等が利用するため、須崎地内に多目的トイレを備えた公衆トイレを建設するための工事費1200万円です。



須崎トイレ

■外ヶ岡交流館管理運営事業
4679万1千円

この事業の主なもの、コロナウイルス感染症拡大防止対策として施設入口を自動ドア等への改修を行うものです。

***建設課**

今回の補正予算は、地区要望に対応するために、道路維持事業2445万1千円、河川維持事業720万円、排水路維持事業265万円等をもって各施設を整備するものです。

■都市公園維持管理事業

1557万6千円

この事業においては、敷根公園テニスコート修繕工事457万6千円及び下田公園落石対策工事1100万円等各施設を整備するものです。



下田公園落石対策箇所

令和2年度下田市
国民健康保険事業
特別会計補正予算

■特定健康診査・保健指導事業
△663万3千円

この事業の主なもの、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた特定健診の受診勧奨等の事業ができませんため、減額するものです。

決算審査特別委員会

委員長

進士濱美

副委員長

進士為雄

委員 江田邦明

中村 敦

鈴木 孝 渡邊照志

矢田部邦夫 佐々木清和

◎令和元年度決算における歳入総額は121億2096万2424円、前年度比10億3271万1904円、9.3%の増です。歳入増の主なもの、新庁舎建設関連、デジタル同報系防災行政無線整備事業、小学校費補助金に伴う市債、地方交付税、国庫支出金の増加です。

歳出総額は114億9352万6599円となり、前年度比10.5%の増です。歳出増の主なもの、新庁舎建設関連事業、デジタル同報系防災行政無線整備事業、小学校空調設備工事、中学校統合関連事業、浜崎小学校東館改築

工事等によるものです。

◎一般会計に関わる財政構造及び財政動向は、将来を見据えた政策に多大な影響を与えることになるが、令和元年度末の主要な財政指標は近年に比して著しい変動は見られないです。財政健全性を図る指標の一つ経常収支比率は89.1%、前年度比1.4ポイント改善しているものの、将来負担しなければならぬ将来負担比率は66.1%、前年度比6.0ポイント悪化している点は、注意を要します。

◎新庁舎等建設事業では、令和元年度において、新庁舎建設設計・工事監理業務（債務）1885万1940円を執行し、新庁舎建設用地を1億5801万1340円で購入しました。そして、建設工事を建築・機械設備・電気設備の3工事を分離で入札をしたが、建築工事・電気設備工事については、予定価格と入札額との金額に大きな差があり不調となった。不調の理由として、東京オリンピックの影響による工事費高騰があるとの説明がありました。しかしながら、その理由だ

けでは納得できるものではなく、再入札を行わなかったことについては反省の弁がありました。また、庁舎入口の道路問題・開発行為申請の取り下げ手続きについての指摘がされました。

◎地域振興事業のみならずまちゾーン活性化協議会は、平成29年6月に設置され「みなとまちゾーン」の活性化に向けての現状把握、課題抽出、活用可能性等について検討しています。しかし、協議会の設置から3年目となるが、具体的ものが未だ示されていません。まどが浜海遊公園については、駐車場だけの利用である現状から、さらなる活用を求める意見がありました。道の駅については「現況の二

ーズにあつたものに改修すべきというように大筋の方向性を決めれば、計画の策定を進めることができるのではないかと」という指摘がありました。◎ふるさと納税については、2億452万2000円の寄附があり、前年度比3575万9526円の減となった。その理由として、返戻品は寄附額の3割までしか費用を

かけることができなくなったことや、昨年の台風による被災の影響で、千葉県等への支援が増加していることなどが示されました。

しかしながら、西伊豆町の約10億円の寄附額を考えると、約2億円しか集められない下田市との違いは何か、取り組み方等についてあらためて考えるべきではないかとの指摘がありました。

◎市税6税目の収入額は、28億6325万4140円で、前年度比0.1%、284万4228円の減となりました。軽自動車税は全体の台数としては微減傾向にあるものの平成28年度以降の税率改正の影響もあり、調定額（現年）は7317万8500円で、前年度比2.2%、158万1300円の増でありました。また、市たばこ税は静岡デステイネーションキャンペーンの影響とも考えられるが、売上本数の増により調定額は1億9521万2323円で、前年度比8.0%、1444万7606円の増と大きく変化があり、他の税目は前年度と比べ微小な変化でありました。

◎大規模災害時における多くの避難者の健康管理に資するよう、白浜小学校に500人槽の非常用トイレが915万8400円で整備されました。また下田市民スポーツセンターに災害対応資機材を保管するための防災倉庫が193万6000円で設置されました。

◎台風第15号においては、市内6か所に避難所が開設され、20世帯、27人が受け入れられ、台風第19号においては、市内7か所に避難所が開設され、315世帯、644人の避難者が受け入れられました。この対応実績は、今後の災害対策についての教訓となるものです。

◎順天堂大学医学部附属静岡病院へのバス運行については、利用者から利便性の向上に関する要望が多くあつたようです。自家用車利用の方を含め、通院時間帯などのアンケートを実施する予定となっております。令和元年度の利用者は1587人、年々利用者が減少しています。利用者のための真の改善が望まれます。

◎オリーブのまちづくり事業は、試験農園を管理する地域

おこし協力隊員と栽培普及技術支援業務委託を受ける日本オリーブ協会、苗木の栽培等でオリーブの文化を醸成する市民が一体となって事業を実施していくものであります。

◎水産振興事業として、下田市魚市場等整備計画支援事業補助金522万5000円が支出されています。同事業は下田市みなとまちゾーングラウンドデザインに大きく影響するものであり、静岡県並びに統合政策課、建設課及び観光交流課と連携し事業を計画的に展開していくことが求められます。

◎外国人観光宿泊客数は9377人で前年度比18.4%の増、前々年度比47%の大幅増であり、今後ますます期待できる実績となっております。さらなる外国人旅行者の誘客の推進と、外国語接客等のおもてなし対策を実施すべきであります。

◎海水浴客数の推移では、令和元年度41万3310人は、前年度比16.7%の減、前々年度比29.9%の減と落ち込みが顕著である。白浜大浜海水浴場から無許可営業業者を無くし、ビーチの健全化を進めサービスの向上に努めるなど、海水浴客の減少に歯止めをかける早急な施策が望まれます。

◎新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今後は衛生的な観光都市が望まれます。しかし尾ヶ崎ウイングなど観光客が立ち寄る施設、トイレの老朽化やごみ放置などが目に付き、有効に活用できていない現状があります。委託管理者への適正な管理業務指導も含め美化と衛生化、利便性の向上が求められます。田牛の龍宮窟では安全確保に努めるとともに、伊豆半島ジオパークとも連携し、景勝地として引き続きPRに努めることが望まれます。

◎ロケーションサービス事業では84件（前年度93件）の撮影の支援がされました。ロケツアーリズム協議会も有効活用し、ロケーションの誘致と聖地巡りを一層推進すべきであります。

◎都市計画マスタープラン推進事業は、伊豆急下田駅周辺



下田町地区ポケットパーク（大工町プレイス）

地区まちづくり調査業務が261万8000円で委託されました。また旧下田町地区の歴史まちづくりのため、公園2件・修景舗装2件が404万78220円で整備されました。今後も計画に基づき整備を推進すべきであります。

◎浜崎小学校東館改築事業は解体工事、増築棟の建設工事及び工事に伴う設計監理等業務を総額1億3546万2100円で実施されました。増築棟は、木造平屋建て219㎡で、多目的室、パソコン教室、放課後児童クラブ教室等に利用されています。

◎市内小中学校のトイレ改修工事については、白浜小学校屋内運動場トイレ改修工事を140万4000円で、小学校トイレ改修工事（稲梓、稲生沢、大賀茂、浜崎）を44



浜崎小学校東館パソコン教室

◎中学校再編整備事業では、（仮称）下田市立統合中学校設計業務委託（債務）780万3800円、下田中学校敷地内国有地測量業務委託1

49万6000円、下田中学校仮設校舎整備工事実施設計業務委託935万円、下田中学校仮設校舎整備工事監理業務委託447万7000円、下田中学校仮設校舎整備工事（新規）2946万7900円、総額1億2280万4700円で実施されました。

下田中学校グラウンド改良工事2000万円については、年度内執行が困難なため、翌年度に全額が繰り越されました。



下田中学校仮設校舎

◎NPO法人下田市体育協会（13協会）に対する補助金は、15万5000円で1協会当たり約1万2000円と少額な補助額となっています。下田市民の健康の増進と親睦を図るための協会運営に支障をきたしているため、補助金増額

の検討が望まれます。

◎下田市民文化会館は、平成18年度から指定管理者制度が導入され、平成30年度から3か年の期間で、（公財）下田市振興公社が指定管理者となっています。建築から30年以上が経過し、令和元年度は大ホール舞台操作盤取替工事727万9200円、下田市民文化会館1階トイレ改修実施設計業務委託138万2400円、下田市民文化会館1階トイレ改修工事1413万9400円をかけて実施されました。

まとめ

◎新庁舎建設については、進入路、開発行為の許可、浸水区域、入札不調を受けての工事費用の増大等、多くの問題を抱えています。また新型コロナウイルス対策の新たな問題に対応するためには、市の財政力を再度考慮しなければならなくなっています。緊急防災・減災事業債の期限も踏まえ早急な対応をすべきであります。

◎請負契約等における随意契約の一部で、適正に処理がされていないものがあつた。今

後は、下田市随意契約ガイドライン等に則した適正な運用に努めるべきであります。

◎産業振興における新たな作物の栽培については、気候や土壌などといった自然条件と栽培者の育成が必要とされています。オリーブのまちづくり事業は、令和3年度までを導入期としているが、試験農園の苗の成育、新規耕作地の拡大などの成果が見込まれていません。耕作放棄地の改善が進まない現状において、本事業については、栽培品目の見直しなど抜本的な改善が求められます。

◎前年度決算審査特別委員会で指摘している「みなとまちゾーン」の活性化、「美しい里山づくり、世界一の海づくり、30カラーズ、美味しいまちづくり」の4つのプロジェクト、板戸プールが長年放置状態になっていることについては成果が見られないため、各事業に対して更なる取り組みと実績を求めます。

以上、適正な執行を要望するものであります。

議事を傍聴しましょう

市議会への「意見・要望」をお寄せ下さい

9月定例会一般質問

渡邊 昭志（清新会）

沢登 英信（日本共産党）

（1）尾ヶ崎ウイングの美化及び爪木崎グリーンエリアからの景観について

（1）新型コロナウイルス感染症とその禍い克服のための諸課題について

佐々木 清和（再興の会）

（2）コロナ禍での海水浴場の運営について

（1）市長の選挙公約について

（3）新庁舎建設事業の経過と問題点について

滝内 久生（自民クラブ）

鈴木 孝（公明）

（1）新庁舎建設について

（1）放課後児童クラブが開設されていない学区の開設計画と進捗状況、問題点について

（2）観光関連施設の維持・管理について

（2）災害時の停電を防ぐための予防伐採について

進士 為雄（明政会）

中村 敦（令和会）

（1）第5次下田市総合計画について

（1）今夏の海水浴場開設の反省と諸問題、これからのあり方について

矢田部 邦夫（再興の会）

（1）放置されているホテル及び住宅について

● 人事案件 ●

◎人権擁護委員の推薦

山崎和也氏（横川）を推薦することについて、適任と判断しました。

◎監査委員の選任

鈴木貞雄氏（箕作）の任期満了に伴い、再度選任することについて同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

金指明夫氏（白浜）を選任することについて、同意しました。

◎副市長の選任

空席となっていた副市長について、元静岡県職員である曾根英明氏を選任することについて、同意しました。

令和2年8月臨時会・9月定例会 審議結果

番号	令和2年8月臨時会議案件名	審議結果
報第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度下田市一般会計補正予算（第6号））	承認
議第41号	令和2年度下田市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議第42号	令和2年度下田市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決

番号	令和2年9月定例会議案件名	審議結果
認第1号	令和元年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第2号	令和元年度下田市稲梓財産区特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第3号	令和元年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第4号	令和元年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第5号	令和元年度下田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第6号	令和元年度下田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第7号	令和元年度下田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第8号	令和元年度下田市集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第9号	令和元年度下田市水道事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定
認第10号	令和元年度下田市下水道事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定
報第11号	令和元年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告について	議決不要
報第12号	令和元年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告について	議決不要
報第13号	債権放棄の報告について	議決不要
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議第43号	監査委員の選任について	同意
議第44号	下田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第45号	令和2年度下田市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議第46号	令和2年度下田市稲梓財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第47号	令和2年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第48号	令和2年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第49号	令和2年度下田市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第50号	令和2年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第51号	令和2年度下田市集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第52号	令和2年度下田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議第53号	令和2年度下田市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議第54号	教育用タブレット端末購入契約の締結について	原案可決
議第55号	副市長の選任について	同意
発議第5号	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて緊急防災・減災事業債の継続等を求める意見書の提出について	原案可決
発議第6号	新たな過疎対策法の制定を求める意見書の提出について	原案可決
発議第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決
発議第8号	「森の力再生事業」の継続、そしてこの事業推進のための「森林（もり）づくり県民税」課税期間の延長に関する意見書の提出について	原案可決

《 賛否が分かれた議案 》

（○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席）

番号	8月臨時会・9月定例会 議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊昭志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
議第41号	下令和2年度下田市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
認第1号	令和元年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案認定
議第45号	令和2年度下田市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決

※議長（小泉孝敬）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

編集後記

コロナ禍で始まった令和2年も残りわずかとなりました。そして、間もなく令和3年が始まります。令和3年は、本市にとって特別な年であり、昭和30年3月31日に6町村の合併で誕生した下田町の市制施行が、50年前の昭和46年1月1日になります。

当時の人口は30318人、初代市長は石井基氏、初代市議会議長は土屋栄治氏、市議会議員は30名でありました。歴では、5月に下田魚市場基地完成、6月に第1回あじさい祭り開催、11月に須崎御用邸落成などがありました。50年前に10万人都市への躍進をめざしてうぶ声をあげた下田市が、この先どのような将来都市をめざしていくのか、皆様からの負託に応えられるよう、議会活動に取り組んでまいります。

編集委員会

- ◇委員長 滝内久生
- ◇副委員長 進士為雄
- ◇委員 橋本智洋
- ◇委員 江田邦明
- ◇委員 渡邊昭志